

今月の内容
・全国の聖徒団を訪ねて(1面)
・龍雲寺聖徒団「五回目の百日大荒行成満」(2面)
・日蓮大聖人の歩まれた道(3面)
・よろこびちゃんの質問箱(4面)
・岩田先生の心も体も生き生き!(5面)
・よろこび法話(6面)

いのちと合掌
日蓮聖人750遠忌
令和13年(2031年)

よろこび

聖徒のための情報誌



第170号
2025年(令和7年)
4月1日(火)
4月号
発行所
日蓮宗全国霊断師会連合会
会長 大塩孝信
編集人 吉田憲由
購読料 1部 100円(税別)
毎月1回1日発行

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
喜助九段ビル702
九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341
ホームページ
www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこびウェブ
検索



鈴木団長と荻原さんご家族

長野県小諸市尊立寺聖徒団(鈴木裕皓 団長)
荻原茂樹さん 荻原眞子さん

お題目の道を歩む
〜俱生神月守と共に〜



北門寺外観

南に太平洋を望み、北に日高山脈を仰ぎ、海と山に囲まれ自然豊かな土地。海で採れる昆布は町名を冠したブランド昆布。肥沃な大地で育った牛は同じく町名を冠した黒毛和牛。競走馬の産地でも知られ、競馬ファンのみならず、誰もが耳にした

北海道日高郡新ひだか町 北門寺聖徒団(飯田法寿団長)
町で唯一の法華道場!!

荻原家の智恵子おばあちゃんには短歌が好きで、よく詠まれています。
義理の母(ひろさん)にあてた一首
「わが命いつ果てるやも知らぬ今母の姿は我が未来像」(行年九十五才)
先立たれた旦那様に送られた一首
「三回忌終わりにながむ

庭先にあの日と同じ芙蓉の花咲く
旦那様の御命日は八月十九日。その時、芙蓉の花が大輪を咲かせていたそうです。故人様に想いを馳せ、芙蓉の花について多くの短歌を詠まれました。ご自身の遺影にも大きく咲いた芙蓉の花が映っており、また、霊山浄土では、きつと素敵な再会を果たされている事でありましょう。
智恵子おばあちゃんの遺志を継いで、娘の眞子さんも短

歌を詠まれるようになったそうです。智恵子おばあちゃんに捧げる一首
「詩で知る 夫婦の絆 強きこときつと出会う 待つ夫のもと」
眞子さんの旦那様 茂樹さんの一首
「ごき母の 残した詩に 感服し 名句で きぬが 始める二人」
故人様がやっていたこと。それを見習い、その遺志を受け継いで行く…。私達ができ



芙蓉(ふよう)の花

る「供養」の二つの形であると思います。
智恵子おばあちゃんは十七回忌。(行年九十五才で「未来像」とした義理の母(ひろさん)と同年)旦那様は四十七回忌。供養法要も仲良く一緒に行われました。

この町にある唯一の日蓮宗寺院が北門寺聖徒団(飯田法寿団長)である。開山である飯田栄苗上人は明治七年三重

現任の第四世飯田法寿上人は開山上人の曾孫にあたる。身延山にて修行し北門寺に



日蓮大聖人銅像



北門寺御宝前

立され、奮い立った法華経の信仰者が相謀り僧侶の派遣を懇願し、その白羽の矢に立ったのが飯田栄苗上人であった。情熱あふれる上人の教化をうけて篤信の信徒が増え、各所に説教所を設置するともに弟子の訓育にも力を注いだ。



【聖徒さんが作るお菓子①】

三石総合市民センターバス停より徒歩五分
道央自動車道苫小牧東ICより車で一時間四十分

【聖徒さんが作るお菓子②】

日持上人始出の霊場 間法寺
毎朝 5時半より「朝勤祈禱会」
4月29日(火)
午前11時より「盛運祈願会」
毎月 第2土曜日
午後3時より「唱題修行」
〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平舘元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住 職 工藤 堯慎・院 首 工藤 堯幸

法華経漸読千部会
4月12日・13日・14日
皆で「俱生神月守」を着ましょう
宗門史跡 常國寺
広島県福山市熊野町甲 1481

いかされるよろこび
常唱寺 聖徒団
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

本山 妙頭寺
日蓮大聖人御真骨奉安
貴首ご法話「ニッキチャンネル」
青藤日軌貫首の著書&CD
よろこび
生活に活かす教え
生活に活かす教え
幸福論
その現代的重要性
〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524/FAX 0283-22-4194

本妙山
感通寺聖徒団
〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

五回目の百日大荒行成満

宮崎県児湯郡都農町
龍雲寺聖徒団(吉田憲由団長)



本堂は檀信徒で超満員に

二月十六日、宮崎県児湯郡都農町の龍雲寺聖徒団(吉田憲由団長)において、吉田団長の帰山式が行われた。

吉田団長は平成十年(一九九八)に初行成満以来、今回が総仕上げとなる五回目の修行「伍行皆伝」を成満し、宮崎県では昭和五十八年(一九八三)ぶりの偉業成満となった。

吉田団長は延岡市松山町本東寺の次男。平成十六年(二〇一〇)に縁あって妻と二人の子供と一緒に龍雲寺へ赴き、地域の力になれる寺づくりに奔走している。全五回からなる大荒行堂は一回目の「祈禱相承」、二回目の「幣束相承」、三回目の「大黒相承」、四回目の「水神(竜神)相承」、五回目の「本尊相承」がある。

帰山式当日は都農駅から成満を祝う行列が行われ、雨降る道中沿道の人々が祝福。式は同寺恒例の「ちからわく水行」と同時に百八名の参加者が団長と共に水行で身を清めた。法要後、宮鹿沖宗務所・黒木浩順宗務所長より「本尊相承」と「伍行皆伝」許証が伝達され、総代の岩



一般参加者と共に「ちからわく水行」 伍行皆伝の吉田団長



田一夫さんから花束が贈られた。吉田団長は参列した聖徒へ向けて涙をこらえながら深く感謝。「移住して十九年経ちますが、百日間考えていたのは今日のこの景色。都農町の皆さんの顔、檀信徒の皆さんの顔、家族や友達の顔を思いながら、それを支えに修行を続けました。そして今日皆さんの顔を見て、一人一人が私のふるさとだということを実感し涙が溢れました。皆様ののおかげで成満することができたという感謝の気持ちをもって龍雲寺を下浜を都農町を児湯郡を宮崎県を元気にしていくことが私のよこびであり、恩返し。私はここに骨を埋めます。みんなが都農町を宮崎を盛り上げて参りましょう」と力強く語った。最後に吉田団長は、留守を守っていた奥様と弟子へ感謝の花束を贈り閉式となった。

能登の復興を祈り続けた寒志百日

石川県中能登町 本玉寺龍華聖徒団(法花堂寛英団長)



水行の様子

二月十四日、石川県中能登町の本玉寺龍華聖徒団(法花堂寛英団長)において、法花堂正匡副団長の帰山奉告式が執り行われた。

日蓮宗大荒行堂への挑戦は今回が初めてだった法花堂副団長。百日間に亘る読経三昧、水行三昧の日々の中で幾度となく挫折しそうになったという。それでも一日たりとも欠かさずに祈り続けたのは、昨年の一月一日に未曾有の大地震により深刻な被害を受けた地元能登の早期復興であった。

寒さの厳しいこの時期の北陸としては珍しく、当日は晴天に恵まれた。多くの檀信徒に見守られる中、盛会裏に帰山奉告式を終えた。

よろこびをもっと 魅力あふれる誌面にと!

全国通信員会議を開催



全国から通信員が集合!

二月二十六日、二十七日、名古屋市のホテルウイングインタナショナル名古屋において通信員会議が開催され、全国より十八名の通信員が集まった。

濱田壽教連合会副会長の挨拶で始まり、続いて本年大荒行堂五行成満を果たした吉田憲由教宣部長が開会を宣言。引き続き濱田副会長から「連合会について」、経験豊富な阪口慈幸通信員から「教誌よこび」についての講話が行われ、靈断布教と俱生靈神月守、「教誌よこび」が当会にとってどれだけ重要なのかを熱く語った。

後半は吉田部長からの「教誌よこび」の更なる充実を目指した講話と、新しいコラムを考えようと題して参加者全員でデ



法花堂正匡 副団長

イスカッションが行われた。

翌日は吉野部員、末吉部員から記事作成についての記事の書き方の説明が行われた。二日間の会議を通じて活発な意見交換が行われ、通信員同士の結束もより固まった。最後は記念撮影を行い笑顔で散会となった。

一人で悩まずに九識靈断法



わからないことは
ほとけさまに相談

九識靈断法

悩みを抱えたとき、進路に迷ったときには、九識靈断法があります。これは日蓮大聖人のお教えから生まれた運命鑑定です。幸せな人生のために、よりよき人生のために。

相談内容

- 家運 業運 金融 縁談 交渉 取引 選挙
- 訴訟 失物 病氣 就職 受験 人物 移転
- 旅行 企画 など

相談例 無事に出産できますか

(相談者) 十九歳 女性 主婦
ある日の二十時頃、請断者本人の母親から靈断師へ電話にて相談。

「夕方頃から娘の陣痛が始まりなかなか産道の開きが悪く、今も苦しんでいる。大病院での出産であるから心配はないと思うが、明朝六時頃までに出産できるか」という相談。「もし難産の傾向があるならば安産の祈禱をしてもらいたい」とつけ加えられた。母親は娘が十九歳の若さで出産することに心配している。

【御宝前にて靈断】

【靈断師による指導】

お母さん、それは心配ですね。とにかくお嬢様が無事に出産できることを一緒に祈りたしましょう。靈断法の指示によればお嬢様は無事に出産できます。しかし、予定よりも陣痛や胎児の進み具合が遅く、朝六時には生まれてこないでしょう。遅くても午前中には生まれそうです。担当の助産師さんも充分信頼のできる人で娘さんに適した手当をしっかりとしてくれます。母子ともに健康で出産を終えられるよう、娘さんと助産師さんを信じて待ちましょう。

【結果】

靈断の指示の通り、朝八時頃までには生まれなかった。しかし二時間半後の午前八時四十六分、無事に男子を出産した。もちろん、母子ともに健康であった。後日、生まれた赤ちゃんを連れて母娘三人でお宮参りに来寺した。

第百五十七回 日蓮大聖人の歩まれた道 地頭との結縁

九識靈断法相伝所所員

小泉 輝泰

「伊東の八郎ざゑもん、今はしなの(信濃)のかみ(守)は、げん(現)にしに(死)たりしを、いのりいけ(活)て、念佛者等になるまじきよし、明性房にをくりたりしが、かへりて念佛者真言師になりて無間地獄に堕ちぬ」

(辨殿御消息)

流人としての日蓮大聖人は当地の地頭である伊東八郎左衛門祐光の預かりとなっていました。そこである日詮議と称して祐光の屋敷へ呼び出されることとなります。しかし実際には御白州の場というわけではなく、そこには裏の事情があったのです。

この時伊東祐光は、長い間病に伏せていました。漢方医や鍼灸師など様々な医者に治療をさせますが一向に良くなる気配はなく、皆にさじを投げられてしまいます。そこで白羽の矢を立てられたのが、大聖人であったというわけです。

しかし幕府より不干渉の命を受けていますので、おいそれと「お願いします」というわけにもまいるません。そこで「詮議をするので出頭するように」というわけです。召し出された大聖人は早速お題目による祈禱を…と思いきや、なんと初手ではこの依頼を断ってしまいます。なぜならば、伊東祐光は念佛の熱心な信者であったからです。そのような者がなぜ大聖人に

縋ったのが不思議に思われますが、やはり裏をもつかむ思いであったのかもしれない。また鎌倉での北条重時に起きた怪奇の話は、当然部下である祐光の耳にも入っていたことでしょう。「この坊主には何やら不思議な力があるのやもしれぬ」と考えたのかもしれない。

そしてこれは不確かなお話ですが、実は大聖人の一番弟子ともいえる弁阿闍梨日昭上人と祐光は工藤家を中心とした同族の仲であったともいわれられています。そうならば日昭上人より「そのお方を何卒よしなにお願ひ致します」と一筆寄せられていたことも十分に考えられます。いずれにせよ辛い流刑の地で好待遇を得るための千載一遇の



機会が巡ってきたわけですが、日蓮大聖人は信念をもって断じてこれを受け入れることは致しません。冒頭の『辨殿御消息』には「をも(思)いあわぬ人はいのるは、水の上に火をたき、空にいえ(舎)をつくるなり」と仰せになっていきます。信仰心のない人のためにいくら祈った

としても、その祈りが叶うことはないのだと断ぜられているのです。しかし祐光ももう後がありません。遂にはこれまでの念佛への信仰を諦め、法華経に帰依することを約束してまでも、大聖人へ病気の平癒を願うのでした。

SNSやっています!!



よろこびちゃん SNS限定コラム連載中

身延大会に参加しました

橋本きみ子さん

千葉県 妙照寺聖徒団(瀬川観常団長)

身延山へは十回目の参拝です。初めて身延へ来たときは心が洗われるような気持ちになりました。今回は母が亡くなり、身延山で供養をしたいという思いもあつての参加となりました。



第60回全国聖徒団結集身延大会

9月27日(土)~28日(日)



身延山でお会いしましょう!

みおしえ



「去りぬる幼子のむすめ御前の十三年に、丈六のそとばをたてて、其の面に南無妙法蓮華經の七字を顯はしてをばしませば、北風吹けば南海のいろくづ其の風にあたりて大海の苦をはなれ、東風きたれば西山の鳥鹿、其の風を身にふれて畜生道をまぬかれて都率の内院に生まれん。況んやかのそとばに随喜をなし、手をふれ眼に見まいらせ候人類をや。過去の父母も彼のそとばの功德によりて、天の日月の如く浄土をてらし、孝養の人並びに妻子は現世には寿を百二十年持ちて、後生には父母とともに靈山浄土にまいり給はん事、水すめば月うつり、つつみをうてばひびきのあるがごとし」

『中興入道御消息』 弘安二年(一二七九) 聖寿五十八歳
(令和新修 一四五六) (昭和定本 一七一八)

訳：亡くなられた幼子のむすめ御前の十三回忌に、大きな卒塔婆をたて供養された。その表面に南無妙法蓮華經の七文字を書き表せば、北風が吹けば南の海にいる魚たちがそのお題目の風にあたって大海の苦しみから脱し、東風が吹けばその反対の西山の鳥や鹿がその風を身に触れて畜生道をまぬがれて天上界に生まれることができるのである。畜生ですらこのようであるから、まして、この卒塔婆の建立を喜び、手を触れて眼に見る人々の功德がどれほど偉大であることか。亡き父母もこの卒塔婆の功德によって、天の日月のように、浄土への道を明るく照らされているであろう。また、孝養の人にあたるあなた自身並びに妻子は現世には百二十年までも長生きして、後生には父母と共に靈山浄土に行かれるであろうことは、水が澄めば月が映り、鼓を打てば響きが伴うように間違いのないことです。



連合会教務部 部長
千葉県全昌寺聖徒団
亀井 教 見

こちらは塔婆供養の功德について述べられたご文章です。塔婆はもともとはお釈迦様のご遺骨を納めた塔のことをいいました。この塔をイン

呼ばれ、長い年月を経て今のようになりまし。右の一節の通り、塔婆をたてることには非常に大きな功德がございます。なお、文中に「百二十年」とあるのは、寿命が延びること、あるいは、それだけ生が充実し心が充足することの比喩であると考えられます。また、塔婆をたてることはよく手紙に例えられます。書かれた南無妙法蓮華經の七文字の力により故人へと功德と共に私達の想いを届けてくれる、まさに「供養の音信」といえます。御命日、年回忌、お盆やお彼岸の法要など、懐かしい人へ手紙を書くように、塔婆をたて供養の志をお送りしてみて下さい。気持ちのこもった手紙を受け取ると嬉しい気持ちになるのと同じで、塔婆をたててもらった故人も自分への想いを感じ喜んで下さいませ。そしてまた、故人もたててくれた方を想い、お題目をお唱えされ、幸せを祈って下さいませ。私達にはお題目があり、塔婆という供養の音信を通してお互いに想い合い祈り合うことができます。是非とも折にふれ塔婆を建立し心を満たしていただければ幸いです。

おらが寺の守護神(第三十二回)

「愛敬稻荷大明神」

富山県富山市 利生寺聖徒団(末吉観道团长)



堂内に安置されている愛敬稻荷大明神は、利生寺第十三世研正院日心上人(桑名師)の姪である新川スズ氏が明治時代以降に感得し、日心上人

品第二十五の経文中にある「宿植徳本 衆人愛敬」の文言のごとく、善行から徳を積み多くの人を集め敬われ愛されることを願い、客商売を生業とする方々をはじめ、特に戦前から戦後直ぐにかけては水商売や遊女という人気商売の方々の参詣が多くありました。

富山上空襲で戦前の仏像は消失しました。現在は昭和二十三年に当山第十六世で靈断師でもあった顕慈院日進上人(末吉文要師)が住職の代に、兄弟子で戦前の遠壽院荒行堂五行成満である妙壽院日頭上人(滑川市長福寺第三十五世小澤文秀師)により修法開眼された住吉宗雲(第十一代長谷川喜十郎)作の仏像が安置されています。

が開眼されたとされています。正式には愛敬稻荷大明神、愛徳稻荷大明神、愛富稻荷大明神の三位一体の御守護神とされていますが勧請の経緯など詳細は不明です。

よろこびちゃんの質問箱

月の満ち欠けと「朔日」の由来

月初めにお寺や神社にお参りにいくことを「朔日参り」といいますね。月の第一日目(朔日)を特別に「朔日(ついたち)」と呼ぶのは太陰太陽暦、いわゆる旧暦に由来しているのよ。

新月のことを昔は「朔(わく)」と呼び、「こころ月が太っていくように見えることから、月の第一日目を月が立ち始める日」「月立ちの日」と呼ぶようになり、「朔日」になったのです。

旧暦では、太陽・月・地球が一直線に並んで月が見えなくなる「新月」の日を基準に、徐々に満ちて満月となり、満月から再び新月を迎えるまでの合計約三十日間をひと月としているのよ。

「ついたち」とは「月立ち」が訛った言葉で、「立つ」には「太る」という意味があるから、「月立ち」は月が太り始める＝満ち始めることを意味するのよ。



QRコードを読み込んでね。私の声で質問箱が聞けるわよ。

進め！ 繋がる霊断師



千葉県我孫子市
本妙寺聖徒団
若林寿観 上人

千葉県我孫子市本妙寺修
徒、若林寿観です。

私は令和六年の六月に霊断師養成講習会を経て霊断師になりました。令和五年は布教研修所にてお世話になり、人との接し方寄り添い方を学びました。その中で霊断師の資格は自分に不可欠な事であると実感しました。今後は自分の経験と霊断をもって、沢山の人を導き、寄り添っていきたいと思います。



よろこびちゃんのクッキング

サケと野菜の包み蒸し



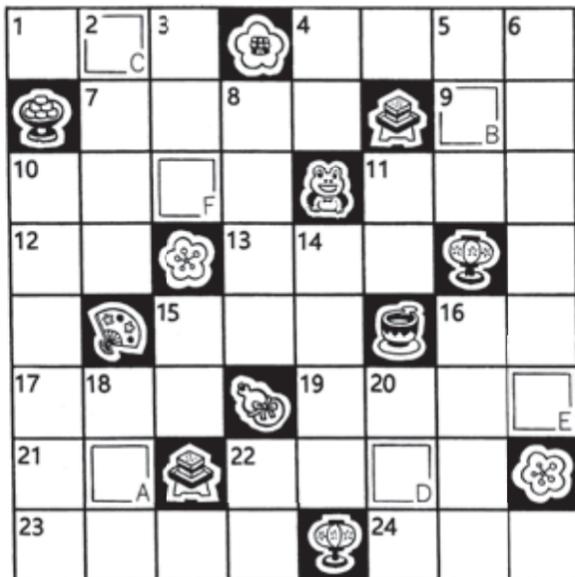
【材料 2人分】
サケの切り身(甘塩) 2切れ、ミニトマト4個、ブロッコリー適量、玉ネギ1/4個、シメジ1/4パック、白ワイン大さじ2、バター20g、レモン適量

【作り方】
①ミニトマトはへたを取り除く。ブロッコリーは食べやすい大きさに切る。玉ネギは薄切りにする。シメジは石づきを取り除き、ほぐす。
②クッキングシートを広げ、真ん中にサケ1切れを置き、その上に半量の野菜とシメジをのせる。白ワイン大さじ1をふりかけ、バター10gをのせる。残りも同じようにつくる。
③それぞれクッキングシートの上下の端を重ねるように折りたたみ、左右の端はしっかりと二つ折り、またはねじって閉じる。
④クッキングシートがフライパンからはみ出ないように注意し、二つの包みをフライパンに置く。
⑤水100ccをフライパンの端から注ぎ、ふたをして弱火で15〜20分蒸し焼きにする。器に移し、レモンをくし切りにして添える。

みなさん自慢の郷土料理レシピを募集します。郷土料理のレシピと、完成した料理の写真一枚を添付し、九段事務所まで郵送またはメールでお送りください。

脳トレクロスワード

答	A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---	---



■ヨコのカギ

- 1 首都はアンカラ
- 4 うそ。にせ。……ニュース
- 7 通ること。一方……
- 9 コガネ虫が建てました
- 10 展示会に出した品物をその場で売ります
- 11 ……の行水
- 12 外科医が持つ小刀
- 13 きれいな声
- 15 江戸の火消しの目印
- 16 マイ……。パト……
- 17 立春後まで残る寒さ
- 19 敵対的買収者に対抗してくる……ナイト
- 21 クジラが……を吹く
- 22 入り交じる。玉石……
- 23 アラレちゃんの名字
- 24 スエズやパナマの水路

- 22 タテのカギ
- 20 顔つき。容姿。外見
- 18 下町ロケット。町……
- 16 ……景。……光明媚
- 14 ロシア語で「魚卵」は
- 11 同級生。級友
- 10 五輪真弓の名曲「……よ」
- 8 桜の代表的な品種
- 6 サザエもホタテも印刷物として書物の形にします
- 5 トランプは自称タリフ
- 4 ……
- 3 運が幸せに向かうこと
- 2 ……松たけけ
- 1 室町時代に中国や朝鮮を荒した日本人の海賊
- 70歳の祝い



★景品はよろこびちゃんのエコバッグです。皆さん、どうぞお使い下さい。

「ヒョウテンカ」
二月号クロスワード当選者
①石川県金沢市 山本好子様
②和歌山県海草郡 山本やよひ様
③島根県出雲市 石飛幸夫様

★抽選で毎月3名様に素敵な景品をお送りします。(締切は毎月20日消印有効)

①郵便番号 ②住所
③氏名 ④電話番号
を明記の上、葉書にてお申し込みください。

【答えの送付先】
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
喜助九段ビル702
霊断師会九段事務所 宛
◎先月号の答えは「ヒョウテンカ」

よろこびちゃん
検索

スマホかパソコンで検索してみてね

心地よいがベスト！歩き過ぎは逆効果かも！

宮崎県 龍雲寺聖徒 薬師整骨院 岩田行敏院長

岩田先生の
心も体も
生き生き！

健康のためにウォーキングをしている人も多いと思いますが、どれくらいの歩数を目安にしていますか？

「1日1万歩」実は多すぎる！？

多くの人が目標とする1日1万歩。実は、万人に推奨される歩数ではないそうです。

昨年の調査では、ベストな目標値は8,000歩/日で、そのうち20分は早歩きをすること！それが脳卒中・心疾患・認知症・骨粗しょう症・動脈硬化・高血圧・糖尿病の予防に効果的で、それ以上歩いても病気の予防の効果は変わらないと発表されました！



実際、厚生労働省によると、65才以上の高齢者の1日平均歩数は、

男性5,779歩、女性4,736歩で、1日における歩数目標は男性6,700歩・女性5,900歩程度ですから、1万歩からは随分と差がありますね！

「1日1万歩」はあくまでも健常な人で、運動機能が衰えていない年代に対しての話。約10分の歩行で、1,000歩程度、距離としては600〜700m歩ける人に向けて発信しているそうです。

足腰が健康なときに1日1万歩を目指すことは問題ありませんが、なんらかの症状を抱えている場合は、負担も増加します！

健康といえども無理に目標を設定するのではなく、歩数はあくまでも目安として、心地よいと感じるようなウォーキングを心掛けるようにして下さいね！暖かくなったからと言って、決して無理をしないようにね!!



よろこび法話

いつもそばに



千葉県南房総市 全昌寺聖徒団団長
連合会教務部部長 教学講師
亀井 教見

いつも「よろこび」をお読み下さりありがとうございます。私にとってこの「よろこび法話」を書かせていただくのは四回目となります。初めての執筆は平成二十九年(掲載は平成三十年二月号)でした。もう七年も前のことで、時間の経過というものは振り返ると早いなあとしみじみと感じます。当時二才だった長女は小学三年になりました。また、この



七年の間には長男・次女も生まれ、長男は六才に次女は三才になりました。私自身は四十三才となり、年を重ねることが非常に懐かしく感じられるようになりました。
そんな中、以前個人的に大変感慨深いことがありました。それは家族で東京都杉並区にある本山堀之内妙法寺に行った時のことです。私はかつて二年間僧侶となるための修行をさせていただき、その後は約二年半山務員として勤めさせていただきました。妙法寺には長い廊下があり、子ども達が走り回って遊びはじめました。「走っちゃダメ!」と注意し一旦は止めますが、小さい子どもにとって広く長い廊下は魅力的なようで、すぐにまた走り回ります。やれやれと思いつつも、その時私自身はとても不思議な感覚にとらわれておりました。その廊下は修行時代に毎朝雑巾がけをしていた廊下でした。夏は汗だくになりながら、冬は手も足も凍えながら、同じ修行仲間と共に日々行っておりました。当時の自分からしたら、雑巾がけをしているその廊下の上を、その十数年後に自分の子ども達が走り回って遊んでいるなんて全く想像しておりませんでした。

した。走り回る子ども達を見ながら、その子ども達の姿と、必死に雑巾がけをしている過去の自分の姿が重なり、まるでそれが同時に目の前に存在しているような不思議な感覚を味わいました。

小なりどなたにも経験のあることではないかと思えます。これには、時間や時間の経過、記憶、さらには仏さまの存在も影響しております。私達は過去・現在・未来という時間の流れの中で生きております。川の流れるように、今という時間も次の瞬間にはすぐ過去になり、未来だと思っていたことも気づけばもう今になっていきます。そのような時間の流れの中において、過去・現在・未来のすべての瞬間に存在し、すべてを見渡していらっしゃる方がおります。それが久遠の仏さま、ご本仏です。『如来壽量品第十六』のお自我偈にこのように説かれております。
為度衆生故、方便現涅槃、而実不滅度、常住此說法(衆生を度せんが為の故に、方便して涅槃を現す、而も実には滅度せず、常に此に住して法を説く)



たが、しかしそれは方便としての涅槃であり、いのちそのものが亡くなったのではなく、久遠の仏として永遠の未来に渡って教えを説き続け救いをもたらして続けているわけです。つまりは、ご本仏は、過去の自分のそばにも、今の自分のそばにも、未来の自分のそばにも、常にいらっしゃるわけです。私にとっては、この原稿を書いている今この瞬間にも、かつて修行時代に雑巾がけをしていたあの時にも、その廊下で子ども達が遊んでいるのを見ていた時にも、あらゆる瞬間にご本仏はそばにいて下さったのです。
ご本仏はどんな時にもどんな場所においても私達のそばにいて下さいます。それがご本仏の大慈悲です。そして、ご本仏の大慈悲の結晶が題目・南無妙法蓮華経です。お題目には時間も空間も超えて力を及ぼし救いをもたらす神秘の力がござります。また、俱生神さまもご本仏と同じく決して自分から離れずいつもそばにいて下さっております。

すなわち、ご本仏は久遠の昔に仏となつてからずっと教えを説き続け救い続けていらつしやいます。お釈迦さまとして人の姿でインドに現れ亡くなりまし



俱生神月守

全国のよろこびちゃん vol.135

千葉県夷隅郡大多喜町 光善寺聖徒団 (荻野泰貴団長)

(上) 日野綾真くん 二〇一八年生まれ 六歳
(下) 日野叶梨ちゃん 二〇一三年生まれ 一歳

五歳差兄弟仲良し! いつも絶対くっついて寝ています。お兄ちゃんは妹が好きすぎるらしいです。これからも仲良く育ててね。

ご本仏の御守護は俱生神さまを通して私達にもたらされてきます。私達は南無妙法蓮華経の道を共に歩む同志です。これからも俱生神月守を着せしご本仏の大慈悲を感じながらお題目を唱え続けるとともに、多くの人に同じようにご本仏の大慈悲を感じていただけるよう、共にお題目を弘めてまいります。

本誌イラスト 小川けんいち

砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國随一 三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団
団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

長栄寺聖徒団

土子隆宏さん・沙弥香さん・紫楠ちゃん
新島に遊びに行きました御守いただいています

三松山 長栄寺
〒100-0402
東京都新島村本村3-1-4
TEL 04992(5)0168
FAX 04992(5)0111

利生寺

日蓮宗靈断師会連合会 伝主
利生寺聖徒団 団長

末吉 観道

〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10
TEL 076-421-8776
FAX 076-421-8250

正蓮寺

日蓮宗靈断師会連合会 会長
正蓮寺聖徒団 団長

大塩 孝信

〒290-0151 千葉県市原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207
FAX 0436-52-2288